



# 対がん協会報

1部70円(税抜き)

第677号

2019年(令和元年)  
7月1日(毎月1日発行)

公益財団法人 日本対がん協会 「日本対がん協会」と「対がん協会」は登録商標です

〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-12 G-7ビルディング9階  
☎ 03-3541-4771 FAX 03-3541-4783 <https://www.jcancer.jp/>

主な内容  
2、3面 世界禁煙デーイベント  
5面 ジャパン キャンサー サバイバーズ デイ2019

## がんによる死亡は37万3547人、前年より213人増

### 1位肺がん、2位大腸がん、3位胃がん

### 膵臓がんで目立つ増加

厚生労働省2018年人口動態統計(概数)

厚生労働省は6月7日、2018年の人口動態統計(概数)を公表した。それによると昨年1年間にがんで亡くなった人は37万3547人で前年より213人増えたことがわかった(2018年は概数、2017年は確定数)。

全体の死亡数は136万2482人で前年の134万397人より2万2085人増加して戦後最多を更新した。一方、出生数は91万8397人となり、前年より2万7668人減少した。

がんは1981年以降一貫して死因の第1位となっており、2018年の全死

亡者に占める割合は27.4%で全死亡者のおよそ3.6人に1人ががんで亡くなっている。

男女合わせての部位別の死亡数を見ると、1位が肺がんの7万4322人、2位が大腸がんの5万656人、3位が胃がんの4万4189人、以下、膵臓がん3万5386人、肝臓がん2万5922人と続く。この順位は昨年と変わらなかった。増加が目立つのは膵臓がんで前年より1162人増えた。次いで乳がんが367人、肺がんが202人それぞれ増加した。

一方、近年増加が目立っていた大腸がんは、前年より25人減った。また、肝臓と胃がんは前年よりそれぞれ、1192人、1037人減少した。

さらに、男女別に部位別のがんの死亡数と死亡率(人口10万対)を見ると、男性は肺がんがもっとも高く死亡数は5万2400人で死亡率が86.7となっており、女性では大腸がんが肺がんが高く、大腸は2003年以降第1位となっている。2018年の死亡数は大腸が2万3558人、死亡率は36.9、肺が2万1922人、死亡率34.4だった。

### 主な部位別にみたがんによる死亡数

	部位	1965年	1975年	1985年	1995年	2005年	2015年	2016年	2017年	2018年	
死亡数(人)	男	胃	28,636	30,403	30,146	32,015	32,643	30,809	29,854	29,745	28,841
		肝	5,006	6,677	13,780	22,773	23,203	19,008	18,510	17,822	17,030
		膵	1,748	3,155	5,953	8,965	12,284	16,186	17,060	17,401	17,936
		肺	5,404	10,711	20,837	33,389	45,189	53,208	52,430	53,002	52,400
		大腸	3,265	5,799	10,112	17,312	22,146	26,818	27,026	27,334	27,098
女	胃	17,749	19,454	18,756	18,061	17,668	15,870	15,677	15,481	15,348	
	肝	3,499	3,696	5,192	8,934	11,065	9,881	10,018	9,292	8,892	
	膵	1,318	2,480	4,488	7,054	10,643	15,680	16,415	16,823	17,450	
	肺	2,321	4,048	7,753	12,356	16,874	21,170	21,408	21,118	21,922	
	乳房	1,966	3,262	4,922	7,763	10,721	13,584	14,015	14,285	14,652	
	子宮	6,689	6,075	4,912	4,865	5,381	6,429	6,345	6,611	6,799	
大腸	3,335	5,654	8,926	13,962	18,684	22,881	23,073	23,347	23,558		

厚生労働省の人口動態統計より作成 2018年度は概数、他は確定数

**がん相談ホットライン** 祝日・年末年始を除く毎日  
03-3541-7830

日本対がん協会は、がんに関する不安、日々の生活での悩みなどの相談(無料、電話代は別)に、看護師や社会福祉士が電話で応じる「がん相談ホットライン」(☎03-3541-7830)を開設しています。祝日を除いて毎日午前10時から午後6時まで受け付けています。相談時間は1人20分まで。予約は不要です。

**医師による面接・電話相談(要予約)**  
**社労士による就労相談(要予約)**  
予約専用 03-3541-7835

日本対がん協会は医師による面接・電話相談と社労士による就労の電話相談(ともに無料、電話代は別)を受け付けています。予約・問い合わせは月曜から金曜の午前10時から午後5時までです。医師による相談は電話が1人20分、面接は30分、社労士による電話相談は40分になります。詳しくはホームページ(<https://www.jcancer.jp/>)をご覧ください。

# 世界禁煙デー記念イベント 受動喫煙のない日本を目指して

日本医師会、  
たばこと健康問題  
NGO協議会など主催

5月31日の世界禁煙デーに合わせて、記念イベント(主催:日本医師会、たばこと健康問題NGO協議会、日本禁煙学会)が東京・文京区の日本医師会館で開催された。「受動喫煙防止法制化の先を見据えて」をテーマにしたプログラムで、小池百合子東京都知事も登壇。小池都知事は「昨年、東京都は受動喫煙防止条例を策定し、現在その体制を整えている。条例は、子どもと働く人を守ることを柱としている。禁煙週間を機に受動喫煙防止の機運をさらに高めていきたい」とあいさつした。

その後、「民間によるたばこゼロ社会の実現を目指して」と題したシンポジウムが開かれ、尾崎治夫・東京都医



禁煙啓発キャラクター「すわん君」も参加し、講演する田淵副部長

師会会長、藤澤武彦・ちば県民保健予防財団理事長、田淵貴大・大阪国際がんセンターがん対策センター疫学統計部副部長がそれぞれ講演した。まず、尾崎会長が、企業での禁煙の取り組みをさらに広げ、その動きを社会全体へつなげたいとの思いから「禁煙推進企業コンソーシアム」を設立した経緯を説明。「各企業が様々な取り組みをすることで、社会全体に禁煙の重要性を発信できる」と述べた。

次いで藤澤理事長は、慢性閉塞性肺疾患(COPD)の患者の肺がんの死亡率がそうでない人に比べ7倍高いとのデータを示し、肺がん検診時にCOPDのスクリーニングを行うこと



日本対がん協会の禁煙活動について語る望月参事

の意義を解説。一方で、COPDへの国民の認知がまだ不十分であると課題を挙げた。

また、田淵副部長は、加熱式タバコなどの新型タバコ対策について講演。「飲食店や職場などで禁煙になっても新型タバコならOKだとして後退させられているところがたくさんある」として、タバコ対策が新型タバコによって難しくさせられていることを指摘した。「加熱式タバコによって一酸化炭素など有害物質の量が減っていても、吸っている本人への健康被害は紙巻きタバコとほとんど変わらないと予測されている」として、新型タバコ対策をしっかり進めていくことを強調した。

さらに日本対がん協会の望月友美子参事からは日本対がん協会が昨年公表した「タバコゼロ宣言」を紹介する特別発言があった。その中でタバコを感染症ととらえて、社会防衛の観点から、子どもたちを完全にタバコから守ることが、タバコゼロの社会実現の早道であることを訴えていた。

## 2019年度禁煙啓発ポスター

# 「吸われているのは、人間です。」に決定

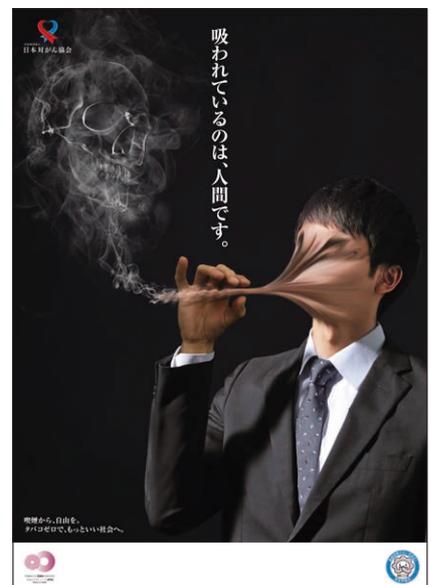
日本対がん協会は、毎年、禁煙啓発ポスターを作成しており、支部を通じて全国に掲示し、禁煙を訴えている。2019年度は、200種以上の有害物質を含むタバコを吸うことで、その毒性で全身が触まれていくだけでなく、医療費の増大など、タバコによって失われていくことの大きさを表現した「吸われているのは、人間です。」に決定した。

タバコには、三大有害物質であるニコチン、タール、一酸化炭素など200種以上の有害物質があることが認定されており、その中には70種類以上の発がん性物質が含まれている。

体内に取り込むことで、全身に回

り、細胞レベルや遺伝子レベルで悪影響をもたらし、がんだけでなく、心筋梗塞や脳卒中、様々な疾患の原因になる。そうした病気による医療費の増大や労働力の損失、日々のタバコ代など、新型タバコも含め、タバコを吸うことで、人間は大切なものを逆に吸われてしまっているということを、ストレートに表現したのが、今回のデザイン。

「喫煙から、自由を。タバコゼロで、もっといい社会へ。」とのサブコピーで、最大のがん予防策である禁煙に踏み出すことを、タバコがない社会を目指すことをうながしている。



2019年度禁煙啓発ポスター

## 世界禁煙デー記念イベント

厚労省主催

## 企業の禁煙活動紹介のトークセッションも

厚生労働省は5月31日、「世界禁煙デー記念イベント2019」を丸の内ホール(東京都千代田区)で開催した。同省が2011年から取り組んでいる「スマート・ライフ・プロジェクト」の一環で、今年は「2020年、受動喫煙のない社会を目指して、タバコの煙から子供たちを守ろう」をテーマに、トークセッションなどの啓発イベントを実施した。

最初に主催者挨拶に立った根本匠厚生労働大臣は、受動喫煙の防止に取り組んでいる方々への学習支援策の推進、普及啓発の促進等に取り組むとし、「望まない受動喫煙の実現のため、引き続きご協力いただきたい」と述べた。

続いて開かれたトークセッションでは、ロート製薬株式会社・代表取締役会長兼社長の山田邦雄氏と、株式会社すかいらーくホールディングス・代表取締役会長兼社長の谷真氏が登壇し、自社の積極的な禁煙活動の取り組みを紹介した。

山田会長は、「2020年までに全員卒

煙し、喫煙率ゼロという目標を掲げている」とし、卒煙したい社員をみんなで応援する「卒煙ダービー」という社内イベントや、非喫煙手当を社内通貨「アルコ」で付与するなどして、禁煙継続や卒煙成功を支える仕組みを取り入れていることを紹介。

「一人一人を強制する」というよりは、上手にみんなで作るのがすごく有効に感じる」と語った。

一方、谷会長は、今年の9月1日には、すかいらーくグループ全店舗(約3200店)で敷地内禁煙を実施することを明かした。さらに喫煙者の従業員家族に対して禁煙のサポートを依頼する手紙を社長自らが書く取り組みや、「禁



トークセッションで語る3人。左から武井課長、山田会長、谷会長

煙マラソン」など、社員の禁煙への取り組みを紹介。また自身の禁煙を振り返り、「周りのサポートが重要と感じる」と語った。

厚生労働省健康局健康課の武井貞治課長は、「ふたつの会社の取り組みを、他の会社にも知ってもらおう、広報の充実にも努めたい」と締めくくった。

## 家族のたばこ～意識調査の結果公表 たばこが結婚の条件になることも

## 国立がん研究センターが調査

「結婚相手は、タバコを吸わない人が良い」と独身者の7割が思っている——。国立がん研究センターは5月31日、家族のタバコについてのこうした国民意識調査の結果をまとめ、発表した。タバコによる健康への悪影響は科学的に明白で、本人の健康を損なうだけでなく、受動喫煙により家族など周りの人の健康にも悪影響を及ぼす。そのため、家族の喫煙についての国民の意識を把握しようと、全国の20歳以上の喫煙者1000人と非喫煙者1000人にインターネットでアンケートし、回答を得た。

調査したのは、①配偶者のタバコについて②喫煙する子どものタバコについて③子どもが20歳以上になったと

きのタバコについて④将来の結婚相手のタバコについての4項目。

それによると、配偶者の喫煙について「やめて欲しい(禁煙して欲しい)」と思っている人が61%。喫煙する子どもがいる親では、タバコを「やめて欲しい(禁煙して欲しい)」と答えたのが75%だった。また、未成年の子どもがいる親では、子どもが20歳以上になったときに「絶対、たばこを吸わせたくない」または「できれば、たばこを吸わないで欲しい」との回答が82%にのぼった。

さらに、独身者が将来の結婚相手については「絶対、タバコを吸わない人が良い」「できれば、タバコを吸わない人が良い」と思う人が70%を占めた。

結婚相手が喫煙者だった場合に「タバコをやめることを結婚条件とする」との回答が45%あるなど、タバコを吸わないことを何らかの結婚条件にする人が69%いることもわかった。

また、2017年国民健康・栄養調査によると、年齢別では若い20代よりも30代、40代の喫煙率は高く、50代になり低くなっていくことから、会社に入って働き出してから環境や年代が影響していることもうかがえた。

調査結果は、国立がん研究センターのサイト([https://www.ncc.go.jp/jp/information/pr\\_release/2019/0531/index.html](https://www.ncc.go.jp/jp/information/pr_release/2019/0531/index.html))から閲覧できる。

# 海外奨学制度 「RFLマイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞」公募開始

## 米テキサス大MDアンダーソンがんセンター・シカゴ大学医学部で1年間研修

公益財団法人日本対がん協会は2019年7月1日付で、米国テキサス大学MDアンダーソンがんセンター(以下MDアンダーソン)もしくはシカゴ大学医学部(以下シカゴ大)において、1年間研修を受ける若手医師の公募を始めました。



2018年度 授賞式の様子

このプログラムは、「リレー・フォー・ライフ(RFL)マイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞」と名付けた奨学制度で、日本の臨床試験推進および地域がん医療の拡充に貢献できる若手医師の育成が目的です。MDアンダーソンと同大の上野直人教授の協力とアドバイスのもとに、一般社団法人オンコロジー教育推進プロジェクトの支援を受けて、2010年度にスタートしました。

MDアンダーソンは開設以来78年余の歴史を有し、全米No.1と評されて

いるがん専門医療施設です。シカゴ大学医学部は、92年の歴史の中で、ノーベル医学・生理学賞を12人輩出した全米屈指の大学です。いずれの施設も、基礎と臨床が融合した臨床研究を推進し、世界のがん医療を牽引しております。

本年度の募集人数は、MDアンダーソンに2人、シカゴ大は1人です。奨励金として1人250万円を支給します(渡航費を含む)。締め切りは2019年9月30日(消印有効)です。

運営の資金は、がん征圧・患者支援の「リレー・フォー・ライフ」に寄せられる寄付です。がん患者・家族の方々の支援には、がん医療を充実させることが重要です。広い視野をもち、強いリーダーシップのもと患者・家族に寄り添える医師の養成が欠かせません。臨

床試験の推進や、患者を中心とした医療システムのあり方など、米国で学んだことを日本の各地の実情に応じて工夫し、患者中心の、真にEBMに基づく医療を根付かせてほしい、そんな願いをこめています。

希望者は日本対がん協会またはリレー・フォー・ライフの公式ホームページから申請書をダウンロードし、必要事項を記入して、郵送してください。お問い合わせは日本対がん協会(TEL: 03-3541-4771、岡本)まで。

### AC支援広告キャンペーン 「あなたと生きたい。だから、あなたと行きたい、がん検診」がスタート

大切な人への想いから受診うながす

日本対がん協会は、公益社団法人ACジャパンの2019年度の支援団体に選ばれ、「がん検診の受診」をテーマにした広告キャンペーンを開始した。キャンペーン期間の2019年7月1日から1年間にわたって、新聞、雑誌、テレビ、ラジオの各メディアが提供する広告枠と交通広告などで広告キャンペーンを展開する。

AC支援キャンペーンとは、ACジャパンが広告の力で社会の抱えるさまざまな問題に目を向けるきっかけを与え、より良い社会の実現を目指すことを目的に福祉活動などを行っている団体を支援

するもの。日本対がん協会は2007年から2012年の6年間にわたって支援団体に選ばれ、がん検診の受診を呼びかけた。5年ぶりに選ばれた2017年には、がん患者の就労をテーマに、18年は、がん検診の受診をテーマに広告キャンペーンを展開、19年もがん検診受診を呼びかける内容となった。

今回の作品は、親子や夫婦、恋人といった大切な人と長く、健康に生きて

いくためにも、一緒に定期的ながん検診を受けることの大切さを、夫婦のやりとりで訴える内容となっている。

テレビCM用では食堂経営の夫婦の夫が、店を休んで一緒にがん検診に行こうと妻を誘う中で、その理由としてずっと2人で一緒に生きていきたいという夫婦の心の思いが伝わる構成になっている。夫婦の心温まる会話から、がん検診をうながされる作品だ。



テレビCMの一場面



交通広告ポスター

## || ジャパン キャンサー サバイバーズ デイ 2019 ||



### 患者・家族の 支援活動情報の展示会

日本対がん協会のがんサバイバー・クラブは6月2日、一度でもがんと診断されたことのある「がんサバイバー」やその家族のために、支援活動情報を提供する展示会「ジャパン キャンサー サバイバーズ デイ2019」を東京都中央区の国立がん研究センターで開いた。患者・家族への支援活動を行っている35の団体や企業がブースの出展や資料展示をし、患者・家族ら600人以上が参加した。

展示会は、患者や家族の生活に寄り添う支援活動をしている団体や企業が集まって情報を提供し合い、結びつく機会を提供することで、より良い活動に発展し、患者・家族にもより良い情報が届くことを願い、企画されたもので、昨年に続いて2回目。

各団体が会場内に出展したブースで、それぞれの活動を紹介する中、隣のメインホール会場では、垣添忠生・日本対がん協会会長の開会のあいさつに続き、清水研・国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科長が「がんを体験したころのケア」と題して基調講演をした。

清水科長は、「がんになるということは様々な喪失体験になる」として、がんになって、それまでの価値観が崩壊し、新たな世界観を持つようになるがん体験者の心の道筋を解説。がんになって1年以内はがんでない人に比べて自殺率が23.9倍になるが、1年後以降は1.1倍になるとのデータを示し、がんになった直後は心の危機を迎えることを紹介した。しかし、がんになったことは変えられず、人生を見直すチャ



盛況だった出展団体の展示ブース

ンスになればと考えるようになった人の例を示し、当初は絶望していても周囲の支えによってどうにか苦境に立ち向かえるようになることを説明した。喪失と向き合っている人には、寄り添う人の存在が大きな力となることも示し、無理をせずに自分なりに寄り添そおうとすることの大切さを語った。

### 一緒に悲しみ、喜ぶことで寄り添える

その後はブースに出展した団体の代表者ら活動内容を紹介するPRタイムをはさんで、「がん患者と家族に寄り添うことを考える」をテーマにしたパネルディスカッションが開かれた。

基調講演した清水科長がファシリテーターとなり、がん研究会有明病院がん相談支援センターがん看護専門看護師の花出正美氏、東京都立小児総合医療センター血液腫瘍科医師で若年性がん患者団体「STAND UP!!」代表でもある松井基浩氏、宮城県で在宅緩和ケアなどと連携して活動している住職の高橋悦堂氏、外見ケアに取り組んでいる東京大学医学部附属病院乳腺内分泌外科・がん相談支援センター副センター長の分田貴子氏の4人がパネリストとなって、それぞれの立場から患者に寄り添う活動について語り合った。

4人の活動紹介の後、参加者からの事前質問に答える形で、患者への寄り添い方について意見が交わされた。

医師とのコミュニケーションの悩みの質問に花出氏は、看護師に気持ちを打ち明ければ、医師の説明と一緒にいく提案もできることを紹介。夜中がんの友達から死にたくないとのメッセージを受けた時にどうしたらよいのかとの質問には、松井氏は「そうした言葉を伝えられたのは信頼されているか



### 寄り添うことをテーマに パネルディスカッションも



パネルディスカッションのパネリストら



会場内に寄り添いのメッセージを張る人たち

ら」と、今まで通り接することの大切さを話した。清水科長も「つらい言葉を吐き出す人のそばにすることが役立っている」と語った。

高橋氏は「自分なりに一緒に悲しみ、一緒に喜ぶことで、寄り添っていていると思われるのではないかと」、花出氏は「寄り添いたいという思いを持ち続けることが大切」と、それぞれ寄り添うことへの想いを語った。

### ネット情報には疑いの目で

その後、国立がん研究センターがん対策情報センター医療情報コンテンツ室の早川雅代氏が「ネット情報との付き合い方～その情報信用できますか～」と題して講演。「検索で上位になったものが良い情報とは限らない」「ネット情報にはだます人がいる。わざと疑う目を持ってネット情報と付き合いしてほしい」と語り、国立がん研究センターのがん情報サービスを情報の入り口として利用することや、エビデンスに基づく一番よい治療は診療ガイドラインとしてまとめられていることなどをアドバイスした。

ピンクリボン啓発活動をスタジアムで実施

# 『イーグルスガールデー2019』 にブースを出展

株式会社楽天野球団による「イーグルスガールデー2019」が5月26日、楽天生命パーク宮城(宮城県仙台市)で開催され、楽天イーグルスを応援する女性たちを対象に、球場内外で様々なイベントや特典が用意された。日本対がん協会は、楽天の嶋基宏選手から数年に渡ってピンクリボン活動へ寄付をいただいていることもあり、ブースを出展し、ピンクリボンの啓発活動を行った。



クイズも人気

ガールデーのテーマカラーがピンクであり、当日配布されたピンク色のイーグルスガールユニフォームを身に着けた女性たちで会場はピンク色に染まり、多くの来場者が試合開始前にブースエリアに足を運んだ。

対がん協会ブースでは、募金受付だけでなく、仙台市が実施している市民健診の案内や、乳房触診モデルの展示、乳がんなどの基礎知識を学ぶ「ピンクリボンクイズ」やフェイスペインティング(協力：日本エステティック協会)を実施。また、ピンクリボンのオフィシャルメッセンジャーの『モモ妹』も登場してブースを盛り上げ、乳がん検診の定期的な受診をアピールした。



モモ妹がブースのお手伝いに来場

募金の受付では、「自分も乳がん経験者だから」「嶋選手が寄付しているなら」ということで募金をしてくださった方もおり、募金していただいた方々には「ピンクリボンラップ(クレハ提供)」と「入浴用化粧品」(ヘルスビューティー提供)、「ハンドタオル」(シャルレ提供)、ペーパータオル(丸富製紙提供)をプレゼントした。

イーグルスガールのイメージキャラクターである櫻坂46の石森虹花さんと守屋茜さんも応援にかけつけ、モモ妹とともにイベントを盛り上げた。

## がん患者の就労支援のガイドブック

国立がん研究センターは、がんになっても働きたいと願う人と企業を支援するために、企業の経営者や人事労務担当者向けの「がんになっても安心して働ける職場づくりガイドブック」を作成した。

ガイドブックは大企業編と、中小企業編の2種類で、いずれもA4判の24ページ。アドバイザーとして参加したがんサバイバーや企業経営者、人事・総務担当者らの協力を得て、従業員ががんと診断されたときに現場でどう動き、支援を進めるのか、必要な配慮などをまとめている。

## 国立がん研究センターが作成

日本人の半数が生涯に1度はがんになり、がん患者の3割が勤労世代に発症している中、医療の進歩で治療を受けながら働き続けたり、適切な治療を受けて早期に仕事復帰できたりする人が増えている。ガイドブックでは、こうしたことから、がんへの誤解から企業が貴重な人材を失わず済むように就労支援の必要性を解説し、がんと就労についての情報集めや、社内の支援制度の点検など、すぐにとり入れられる対応のポイントを紹介している。

実際に社員ががんと診断されたときに気を付けることとして「がんの支援

で心がける7カ条」も掲載している。

これらは大企業編も中小企業編も共通だが、職場での支援には、企業規模によって支援制度も異なることから、大企業編と中小企業編では、個別の事例をインタビューなどで紹介している。

両冊子ともに、国立がん研究センターがん情報サービスのサイト内の「がんと共に働く まず一歩前へ。」のページ(<https://ganjoho.jp/pub/support/work/>)から無料でダウンロードできる。

### 日本対がん協会新理事に

# 安齋氏

公益財団法人日本対がん協会は東京都内で5月29日に理事会、6月13日に評議員会を開き、2018年度の事業報告と決算を承認し、新しい理事に東洋大学理事長でセブン銀行特別顧問の安齋隆氏を選んだ。

## 古本で日本対がん協会に寄付ができます

読み終えた本やDVDなどを活用しませんか？

詳しくは「チャリボン」 <https://www.charibon.jp/partner/JCS/> (ISDNのバーコードがついた書籍類が対象です)

charibon by VALLE BOOKS

お問合せ(株式会社バリューブックス)：0120-826-295  
受付時間：10:00-21:00(月~土) 10:00-17:00(日)

内視鏡検査による対策型大腸がん検診への期待と課題

# 日本消化器がん検診学会での議論から考える

小西宏・日本対がん協会がん検診研究グループマネジャー

「5万1020人」と「5万681人」。

この二つの数字が何を示しているかを知った時、非常に驚きました。

5万1020人は、今年、大腸がんで亡くなると推計されるアメリカ人の数です(アメリカ対がん協会=ACS=のホームページより)。

5万681人は、2017年に大腸がんで亡くなった日本人の数です(厚生労働省・人口動態統計より)。

罹患者はそれぞれ「14万5600人」(19年推計、ACS)と「14万339人」(15年推計、全国がん罹患モニタリング集計)。年がやや異なりますが、こちらも似た数字です。

アメリカと日本は人口に大きな差があります。アメリカは約3億2600万人、日本は約1億2700万人。アメリカは日本の2.6倍です。仮に、年齢構成や死亡率などを考えずに単純に計算すると、アメリカでは10万人以上が亡くなるはず——です。

## ブッシュ政権から続く啓発、オバマケアの成果

大腸がんの発症リスク要因に「肉(赤身)」が挙げられます。どう考えても、日本人よりアメリカ人のほうが肉をたくさん食べますし、日本人は昔から野菜をよく食べると言われてきました。なのに、なぜ?——最初の驚きに続いて浮かんだ疑問でした。

平均寿命の差もあります。日本は男性81.1歳、女性87.1歳。アメリカはそれぞれ76歳と81歳(ともに16年のデータ、WHOの資料より)。この70~80代の5、6歳の差で罹患者数はかなり違うのは間違いなく、日本人のほうが多くなるでしょう。

検診の手法、受診率も異なります。アメリカでは50~75歳を対象に毎年便潜血検査と10年に1回の大腸内視鏡検査、5年に1回の大腸CT検査が勧められています。ACSは「検診でポリープがしばしば見つかり、切除することでがんが減少」と記しています。

アメリカは、ブッシュ政権時に3月を大腸がん啓発月間とし、医療保険改革法(オバマケア)で節目の大腸内視鏡検査を保険でカバーしました。

そうした結果、大腸内視鏡検診の受診率は63%となっています。アメリカの大腸がん事情には、こういう背景があるので。

翻って日本、です。検診(便潜血検査)の受診率は男性44.5%、女性38.5%(16年厚労省・国民生活基礎調査)。10年の各28.1%、23.9%よりは伸びたとはいえ、がん対策推進基本計画の目標50%は、未だ達成されていません。

## 大腸内視鏡検査による検診は……

日本でも大腸内視鏡検査による検診を実施したら——そんな考えにヒントを示してくれそうな専門家の議論が6月初め、岡山市で開催された日本消化器がん検診学会総会で繰り広げられました。

題して「内視鏡による対策型大腸がん検診への期待と課題」。

大腸内視鏡検査の有効性を調べる研究を実施中の医師や研究者、S状結腸内視鏡と便潜血検査を併用した検診を実施する医療機関の医師ら5人が自分たちのデータを基にメリットやデメリット、課題などを提示。会場からも質問や意見が出されました。

各手法のエビデンスを概括すると、便潜血検査は、様々なRCT(無作為化比較試験)で死亡率減少効果が確認され、各国で推奨されています。S状結腸内視鏡検査もRCTで有効との報告があり、英

国(イングランド)では55歳を対象に検診が始まり、米国でも勧められています。全大腸内視鏡検査(盲腸まで)の研究も日本をはじめ各地で進行中。有効性が確認されると、米国以外でも採用が見込まれます。

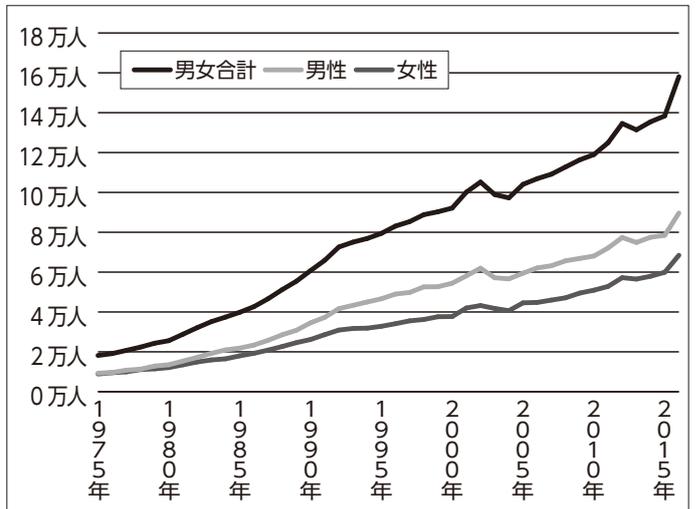
学会での議論で、課題も見えました。まず大腸内視鏡検査を行う医師数。胃内視鏡検査でも問題となっている「受け皿」です。胃の場合以上に受け皿が小さいことがうかがえました。

標準化—医師による検査のばらつきの解消も課題で、教育面の拡充が欠かせません。対象年齢、検診間隔の設定、費用負担……さらに偶発症への対応も重要ですし、何より、市民が受け入れるかどうかの検証も要ります。

一方で、「大腸内視鏡検査を毎年のように受ける人も少なくない」という指摘もありました。過剰に受ける人、つまり検診として無用な検査が行われることで必要な人の受診機会が奪われている、という問題です。

大腸内視鏡検査のような方法を導入する場合は、受診者の登録とフォロー・評価が欠かせません。それが機能することで様々な課題解決につながるでしょう。登録のような、日本では顧みられることの少ない地道な取り組みもぜひ、議論してほしいものです。

大腸がんの新規罹患者数の推移



国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」より

## 2017年度グループ支部 がん検診の実施状況から ◆大腸がん

## ■全体 男女合計

支部名	受診者数 (A)	要精検者数 (B)	精検 受診者数 (C)	精検の結果					精検不要の 人数 (E)	要精検率 (B/A)	精検受診率 (C/B)	がん発見率 (D/A)	陽性反応 的中度 (D/B)
				がん(D)	がん疑い	がん以外の 疾患	異常なし	その他の 結果					
北海道	126,084	10,000	8,333	390	4	5,800	2,139	0	116,084	7.93%	83.33%	0.31%	3.90%
青森	104,977	6,710	5,459	376	28	3,766	1,163	208	98,267	6.39%	81.36%	0.36%	5.60%
岩手	114,540	5,391	4,335	274	0	2,898	1,162	1	109,149	4.71%	80.41%	0.24%	5.08%
宮城	66,507	3,649	3,254	171	0	2,132	950	1	62,858	5.49%	89.18%	0.26%	4.69%
秋田	66,319	4,297	3,354	126	11	2,175	1,023	19	62,022	6.48%	78.05%	0.19%	2.93%
山形	130,418	7,438	5,635	150	24	3,408	2,053	0	122,980	5.70%	75.76%	0.12%	2.02%
福島	122,990	8,937	6,277	288	5	4,012	1,935	168	114,053	7.27%	70.24%	0.23%	3.22%
茨城	167,520	11,513	8,284	284	21	6,363	1,616	0	156,007	6.87%	71.95%	0.17%	2.47%
栃木	77,485	4,049	2,753	103	13	1,969	668	0	73,436	5.23%	67.99%	0.13%	2.54%
群馬	29,793	1,341	1,078	48	2	755	273	0	28,452	4.50%	80.39%	0.16%	3.58%
埼玉	23,702	1,197	763	35	6	513	184	25	22,505	5.05%	63.74%	0.15%	2.92%
千葉	112,881	8,027	4,847	133	8	3,534	1,166	6	104,854	7.11%	60.38%	0.12%	1.66%
新潟	131,417	7,757	6,348	354	35	3,691	2,088	439	123,660	5.90%	81.84%	0.27%	4.56%
山梨	17,278	861	591	18	2	392	167	0	16,417	4.98%	68.64%	0.10%	2.09%
長野	102,988	5,985	4,196	171	0	2,548	1,247	235	97,003	5.81%	70.11%	0.17%	2.86%
富山	33,252	1,903	1,085	44	0	760	281	0	31,349	5.72%	57.02%	0.13%	2.31%
石川	28,084	1,729	1,262	56	0	897	298	11	26,355	6.16%	72.99%	0.20%	3.24%
福井	56,075	2,724	1,852	111	6	1,347	388	0	53,351	4.86%	67.99%	0.20%	4.07%
愛知	12,541	1,239	622	16	1	343	247	15	11,302	9.88%	50.20%	0.13%	1.29%
三重	25,539	1,248	791	29	10	423	270	59	24,291	4.89%	63.38%	0.11%	2.32%
滋賀	14,918	896	666	22	0	457	176	11	14,022	6.01%	74.33%	0.15%	2.46%
京都	82,693	5,639	709	33	0	553	123	0	77,054	6.82%	12.57%	0.04%	0.59%
兵庫	96,079	4,885	2,082	83	0	1,443	496	0	91,194	5.08%	42.62%	0.09%	1.70%
奈良	1,658	198	164	6	0	126	31	1	1,460	11.94%	82.83%	0.36%	3.03%
和歌山	25,195	1,613	691	0	0	489	161	12	23,582	6.40%	42.84%	0.00%	0.00%
鳥取	42,548	2,455	1,667	79	0	1,109	479	0	40,093	5.77%	67.90%	0.19%	3.22%
島根	41,784	2,190	1,312	43	8	824	381	31	39,594	5.24%	59.91%	0.10%	1.96%
岡山	35,593	2,350	1,331	26	6	969	284	46	33,243	6.60%	56.64%	0.07%	1.11%
広島	33,685	2,021	1,449	64	0	968	356	0	31,664	6.00%	71.70%	0.19%	3.17%
山口	48,279	2,238	1,237	36	0	864	336	1	46,041	4.64%	55.27%	0.07%	1.61%
徳島	24,614	2,298	1,449	25	1	970	410	43	22,316	9.34%	63.05%	0.10%	1.09%
香川	20,968	1,219	1,055	45	0	787	223	0	19,749	5.81%	86.55%	0.21%	3.69%
愛媛	71,816	4,070	3,153	93	6	2,047	929	78	67,746	5.67%	77.47%	0.13%	2.29%
高知	68,882	2,960	1,987	96	11	1,357	523	0	65,922	4.30%	67.13%	0.14%	3.24%
福岡	79,004	4,183	2,555	122	0	1,860	569	4	74,821	5.29%	61.08%	0.15%	2.92%
佐賀	45,074	3,193	2,093	75	11	1,527	453	26	41,881	7.08%	65.55%	0.17%	2.35%
長崎	40,048	2,581	1,830	78	4	682	449	1	37,467	6.44%	70.90%	0.19%	3.02%
熊本	55,763	3,689	2,503	59	1	1,583	570	303	52,074	6.62%	67.85%	0.11%	1.60%
大分	23,523	1,444	1,241	54	1	920	266	0	22,079	6.14%	85.94%	0.23%	3.74%
宮崎	27,913	1,736	1,212	34	2	827	322	0	26,177	6.22%	69.82%	0.12%	1.96%
鹿児島	63,639	3,669	2,911	83	5	2,247	576	0	59,970	5.77%	79.34%	0.13%	2.26%
沖縄	43,466	2,482	1,410	67	8	890	330	114	40,984	5.71%	56.81%	0.15%	2.70%
合計	2,537,532	154,004	105,826	4,400	240	71,225	27,761	1,858	2,383,528	6.07%	68.72%	0.17%	2.86%